

だいしきょうへるぶ

春 だより



『障がい者自立支援法』の見直しが 発表されました

平成19年12月26日「障がい保健福祉関係主管課長会議」が開催され、障がい者自立支援法の抜本的な見直しに向けた緊急措置が発表されました。

今回はその中で皆さんが特に気になると思われる『利用者負担金』についてまとめてみました。

大まかな内容としては「サービスに係る利用者負担の軽減」と「軽減措置の対象者の範囲拡大」です。

■利用者負担の見直し（平成20年7月実施）

【障がい者（成人）の場合】

①低所得1及び2（非課税世帯）の障がい者の居宅・通所サービスに係る利用者負担上限月額を軽減

- ・低所得1（障がい基礎年金2級） 3,750円 → 1,500円
- ・低所得2（障がい基礎年金1級） 6,150円 → 3,000円

②負担上限月額の算定基準となる世帯範囲の見直し

【例】 Aさんがご両親とお兄さん（仕事をしている）と4人暮らしをしていたとしたら・・・。

（現在）ご家族全体の収入＝ご両親の収入＋お兄さんの収入＋Aさんの障がい基礎年金（収入）でAさんの利用者負担金の上限月額が決まっていた。

（見直し）Aさん個人の収入を基本とするので、本人と配偶者のみを勘案して上限が決まります。



【障がい児の場合】

①負担軽減措置の対象となる課税世帯の範囲拡大

現在では年収600万円程度（市町村民税所得割額16万未満）までの世帯が対象とされていましたが、見直し後は年収890万円程度（市町村民税所得割額28万未満）までの世帯に拡大されます。

※これにより障がい児を抱える世帯の8割以上の家庭の負担が軽減されます。

②1ヵ月当たりの利用者負担上限月額の軽減

※年収890万円程度（市町村民税所得割額28万未満）までの世帯が対象

- ・低所得1（障がい基礎年金2級） 3,750円 → 1,500円
- ・低所得2（障がい基礎年金1級） 6,150円 → 3,000円
- ・課税世帯（年収600万円程度まで） 9,300円 → 4,600円
- ・課税世帯（年収600万円～890万円程度まで） 37,200円 → 4,600円



※緊急措置の実施が近づいてきましたら区役所等から申請の必要な方へお知らせが届くと思います。

詳しくお知りになりたい方はその際に各区保健福祉担当窓口でお問い合わせください。

おでかけ

じょうほう

今回のおでかけ情報は大阪城公園です。

暖かくなり桜の季節がやって来ましたね。皆さんもお花見に行ってみてはいかがでしょうか？

住所：大阪府中央区大阪城1番1号

最寄駅：谷町4丁目・森ノ宮・大阪ビジネスエスパーク・大阪城公園

※駅の近くにはコンビニなどがあり、公園内にも売店や喫茶店などがあります。



☆大阪城では色々な場所で桜を楽しむ事が出来ます。自分のお気に入りの場所をみつけてみてください

夜桜を楽しむには西の丸庭園がお勧めです。見上げれば黄金色に輝く天守閣も見逃せません。※障がい者の方は無料（一部介助者有料）



天守閣の展望台からの眺めは最高です。生駒や六甲山も一望でき、天気の良い時には淡路島まで見れると言われています。（エレベーターは完備されています）※障がい者の方（介助者1名まで）は無料



大阪城公園内には急斜面や、ガタガタした道がみられます。車椅子を押す時には前輪を上げたり、後から引くなどして移動するとより安全に移動することが出来ます。

歩いて桜を見るのもいいですが、ロードトレインに乗って少し違った雰囲気を楽しむのもいいですね。※障がい者の方のみ無料（介助者有料）※車椅子の乗車スペースは一台のみですので、乗車する前には係りの人に確認して下さい。



※障害者用トイレは完備されています。（公園内の地図で確認して下さい）

※無料サービスを受けるには手帳の提示が必要です。



「平成19年度 第4回ヘルパー研修会」

2月20日(水)・24日(日)に府立青少年会館においてヘルパー研修会を行いました。

今回の研修会では、『精神障がい者の理解』という内容で講義を行いました。

「精神障がい者とはどんな障がいなのか?精神障がい者は今までどのような偏見を受けてきたのか?」ビデオや事例を用いて話をしました。参加者からは

「精神障がい者の方々に対する差別や偏見を持たない社会になっていくよう、私自身も心がけていきたいと

思いました」などの意見が多数聞かれました。

精神障がいというのはまだまだ障がいとして認知されて

いない状況ではありますが、一日でも早く地域で生活が

出来るように私たちヘルパーも努力をしていかなければ

ならないと考えさせられた研修会となりました。



第三者委員をご存知ですか?



第三者委員とは、地域住民の立場から大肢協への意見をいただいている方々で、利用者のみなさんからの苦情・相談の受付をお願いしています。その第三者委員の方々と定期的に情報の交換を目的に、第三者連絡会議を3月10日(月)に行いました。ヘルプサービスからはサービス提供状況やアンケートの集計結果、苦情・事故の報告をし、委員の方々からは大肢協の他の事業(ヘルプサービス以外のいきいきやグループホームや作業所)との連携の強化・情報交換の推進へのご意見をいただきました。

大肢協ヘルプサービスに対して直接言いにくいなあ。と思うことがある方は一度ご相談下さい。

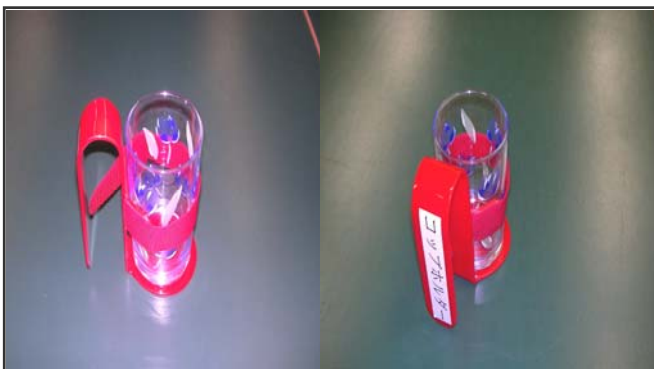
連絡先については契約時にお渡ししている「重要事項説明書」をご参照下さい。

じじょぐしょうかい 自助具紹介



ナンバー
NO.13 コップホルダー

「自助具」とは、日常生活の中での不自由を補い少しでも自分でするように使う人の障害に合わせて工夫した道具の事を言います。



主な対象者は、頸椎損傷やリウマチなどのために握る力がなかったり、痛みなどでコップを持っていない人です。ホルダー本体にコップや缶ジュースなど取り付けて使う事が出来ます。コップなどを握って飲むことが難しい人のために考えた自助具です。

☆ 大肢協では、自助具の製作・研究を行っています。詳しくは大肢協ホームページの

『自助具の部屋』をご覧頂くか、電話でお問い合わせ下さい。(TEL 06-6944-4705)

利用者紹介 (NO.15)

香山 泰士 様



☆今回ご紹介するのは香山泰士さんです☆

電車がとても好きな方で、元気いっぱいな男性です。

平日は「なにわ宮」の作業所に通っており、休日はヘルパーさんと一緒に長居のスポーツセンターでボーリングをしたりカラオケに行ってお楽しみでいられます。

香山さんが今一番好きな事、それは「銀河鉄道999」です。

今回は「銀河鉄道999」について香山さんに聞いてみました。

僕は、松本零士先生の「銀河鉄道999」が大好きです。好きになったきっかけは、作業所でビデオ鑑賞があり、その時に見たのがきっかけでした。僕はその中でも一番好きなキャラクターは謎の美女メーテルです。携帯の待ち受けにもしています。今では作業所でも、家に帰ってからもパソコンでYouTubeのサイトから「銀河鉄道999」の物語や主題歌を見たり聴いたりして楽しんでいます。

見ている内にどんどん「銀河鉄道999」が好きになっていきました。

「銀河鉄道999」のあらすじをお話すると・・・。

『身体を機械化した富める人々と、貧しく生身の身体で生きる人々が暮らす未来の地球。主人公の星野鉄郎は母親とともに暮らしていたが、機械伯爵の人間狩りに会い、母を失いました。

自らも生命の危機に・・・そこで助けてくれたのは謎の美女メーテルでした。鉄郎は銀河鉄道999に乗ってメーテルと一緒に機械の身体をタダでくれる星へと旅に出る』というお話です。

いつかは、僕も「銀河鉄道999」に乗ってみたいと思っています。

★ 編集後記 ★

今回の「だより」の発行時期が4月という事もあり、おでかけ情報は桜をテーマに紹介させて頂きました。いかがでしたか？皆さんは桜を見るなら昼or夜ですか？私は夜の桜の方が大好きです。今年こそは念願の清水寺の夜桜を見に行こうと思っています。また皆さんのお勧めの場所を教えてくださいね。

☆お知らせ☆

造幣局の桜の通り抜は4/14(月) 13時～15時です。日程があう方は足を運んでくださいね。

「バリアフリー2008」は4/25(金)～4/27(日) 10時～17時で開催されます。

発行 大肢協ヘルプサービス

住所 〒540-0003

大阪府中央区森ノ宮中央2-13-33 府立青少年会館5階

電話 06(6942)5758

FAX 06(6942)5772

e-mail help-s@daishikyo.or.jp ホームページ <http://www.Daishikyo.or.jp>

過去のへるぷだよりも大肢協のホームページから見るができます